

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約2.1 億円
		通常砂防事業 なかのたに 中谷川		内用地補償費	約0.1 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
豊岡市 <small>なかのたに</small> 中谷			16年度	16年度	19年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進んでおり土石流災害の危険性が高まっているため、堰堤工を設置して地域住民の人命、財産、災害時の指定避難場所である中谷会館（公民館）を保全する。	・砂防堰堤工 2基 (H = 9.5m , L = 52.0m) (H = 7.0m , L = 40.0m)

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・中谷川は土石流危険渓流である。 ・流域状況は、近年の降雨で渓流の荒廃が進み、崩壊土砂が渓流中に堆積しているが、土石流対策として整備率は低い水準にある。 ・保全対象：人家 = 18戸、公共施設 = 市道新田東部線、公民館（地区避難所） 田畑 = 0.18ha
地域の活性化	・砂防堰堤工事により土石流災害の危険性が軽減され、下流域の有効な土地利用が図れるようになる。
快適性・ゆとり	・堰堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の土石流災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 ・豪雪地帯対策特別指定地域に該当し、砂防堰堤工の整備により条件不利地域の安全性向上に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産（人家18戸）及び市道、災害時の指定避難場所である中谷会館が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	・地元からの要望が強く、市等の協力体制が整っていることから、円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・人家等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流の想定被害区域には人家18戸のほか、市道、災害時の避難場所である中谷会館がある。 ・流域状況は急峻な地形と相まって荒廃が進み、土砂流出の危険性が高く、中谷地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。